

事務事業マネジメントシート(平成26年度実績と平成27年度計画)

平成28年 2月17日更新

事務事業名		障害者自立支援医療費支給事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり			所属部	健康福祉部	課長名	後藤 圭子
	施策	17	障がい者の自立と社会参加の促進			所属課	福祉課	担当者名	佐藤 美奈
	基本事業	51	障がい者への在宅福祉サービスの充実			所属班	障がい福祉班	(内線)	2124
予算科目		会計一般	款3	項1	目3	事業連番10509	法令根拠	障害者総合支援法	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 26年度で終了 <input type="checkbox"/> 26年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		
								成果優先度評価結果	: ①
								コスト削減優先度評価結果	: ⑩

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】	【更生医療】身体損傷に対する一般医療(治療)を終え、すでに治癒した身体障がい者に対し、その障がいを除去または軽減し、日常生活を容易にするため、医療費の一部を支給する事業 【育成医療】18歳未満の児童で、身体上の障がいのある方、または現存する疾患を放置すると将来障がいを残す方で、確実な治療効果が期待しうるものに対し、医療費の一部を支給する事業。 平成18年4月障害者自立支援法制定により開始された。 平成25年4月障害者総合支援法(障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律)に改正。 平成25年4月育成医療が県からの権限委譲により、市での給付となる。
(開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	
【業務の流れ】	【更生医療】①更生医療申請受付→②県へ判定依頼→③判定書に基づき決定→④支払→⑤国・県負担金請求 【育成医療】①育成医療申請受付→②市で支給判定、決定→③支払→④国・県負担金請求
【主な予算費目】	役員費、委託料、扶助費
【意見や要望】	特になし
関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
①手段(主な活動) 26年度実績(26年度に行った主な活動)(DO)	自立支援医療(更生医療・育成医療)の対象となる人工透析・ペースメーカー埋め込み術等の医療費の一部を申請に基づき、本人又はその扶養義務者の負担能力に応じ助成した。	27年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		自立支援医療(更生医療・育成医療)の対象となる人工透析・ペースメーカー埋め込み術等の医療費の一部を申請に基づき、本人又はその扶養義務者の負担能力に応じ助成する。自立支援給付事業の中で実施していた療養介護医療費給付が、自立支援医療の中に組み込まれるため、その医療費給付を実施する。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)件	予算の主な増減の理由
→ア:申請件数	件	平成27年度から自立支援給付事業の中で実施していた療養介護医療費給付が、自立支援医療の中に組み込まれるため、その医療費給付分が増加となっている。また番号制度導入に伴うシステム改修業務委託費を計上したため。
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等		②対象指標(対象の大きさを表す指標)
自立支援医療(更生医療・育成医療・療養介護)給付対象者		→ア:対象者数
		→イ:人
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③成果指標(意図の達成度を表す指標)
医療費の軽減を図る		→ア:医療費給付額
		→イ:円
*③成果指標設定の理由と27年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
障がい除去または軽減されていると思われる方を医療費の給付額をもって把握する		全体計画
		~年度
		0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	24年度実績(決算)	25年度実績(決算)	26年度目標(当初予算)	26年度実績(決算)	27年度目標(当初予算)	28年度予定	29年度見込	30年度見込		
①活動指標	ア	件	264	278	260	281	280	280	280	280		
	イ											
②対象指標	ア	人	255	299	265	256	270	275	275	275		
	イ											
③成果指標	ア	円	41,289,708	36,066,156	33,736,000	32,874,884	33,736,000	33,736,000	33,736,000	33,736,000		
	イ											
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円	18,862	17,704	16,719	22,128	22,261	24,372	24,372	24,372	
		都道府県支出金	千円	9,431	8,852	8,359	8,281	11,130	12,186	12,186	12,186	
		地方債	千円									
		その他	千円									
		繰入金	千円									
	一般財源	一般財源	千円	14,062	24,308	8,658	3,049	12,733	13,167	13,167	13,167	
		(A)事業費計	千円	42,355	50,864	33,736	33,458	46,124	49,725	49,725	49,725	
		(A)のうち指定経費	千円	41,290	36,066	33,430	32,875	32,854	44,515	44,515	44,515	
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0	
		人件費	人	5	6	4	6	4	4	4	4	
延べ業務時間	時間	1,320	1,330	600	650	600	600	0	0			
(B)人件費計	千円	5,373	5,298	2,390	2,589	2,390	2,390	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円	47,728	56,162	36,126	36,047	48,514	52,115	49,725	49,725			

事務事業名	障害者自立支援医療費支給事業	所属部	健康福祉部	所属課	福祉課
-------	----------------	-----	-------	-----	-----

2 評価の部 (SEE)

*原則は26年度の後評価、ただし複数年度事業は26年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①26年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②27年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 身体障害者手帳所持者は微増となっており、負担能力に応じた自立支援医療費の適切な給付に努める。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 対象となる医療費が、更生医療・育成医療対象の医療行為に限られているため。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 障害者総合支援法に基づき実施しているため。
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 障害者総合支援法に基づき実施しているため。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 最低限の人員で対応しているため。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 障害者総合支援法に基づき実施しており公平・公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 障害者総合支援法に基づき実施しており適正である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

自立支援医療費給付額は増加しており人工透析等継続的に医療が必要であり負担能力に応じ給付が必要である。

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					